



総会・懇親会 (平成29年7月23日)

創立百周年記念事業の 成功に向けて



同窓会会長
竹井 淳
(宗高十二回卒)

残暑厳しき折、会員の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。先月の同窓会総会において、川島会長の後継会長として承認いただきました竹井でございます。百年に一度の記念すべき大切な時期でございますので、非力ではございますが会員の皆様のご協力を得ながら頑張りたいと思います。

さて、川島前会長は四年間に渡り中高一貫校設置や創立百周年の実行委員会の設立などたいへんな時期を精力的に牽引してこられました。心から敬意を表します。

平成三十一年の創立百周年が二年後に迫っていますので、宗像高校創立百周年記念実行委員長長の川島前会

長と協力しながら記念事業成功に向けて全力を傾注しますのでよろしく願います。

創立七十周年のときには各支部の皆様には大変お世話になりましたが、今回の創立百周年についても、各支部(東京、関西、福岡、北九州、宗像市役所)において実行委員会をつくって協力して行こうという動きがあることは、頼もしくまた有難く思います。

創立百周年記念の全体図は、式典や祝賀会などの記念行事は主に学校とPTAが受け持ち、募金や体育施設の充実などの記念事業は主として同窓会が受け持ちます。現在、それぞれが実行委員会で準備をしているところです。

同窓会本部では、記念事業実行委員会と協力しながら、九月から始まる募金活動や各種記念事業の計画・実施に向けて取り組んでいます。具体的な計画については、同封の募金趣意書やHPに載せていますので会員の皆様のご理解とご協

力を切にお願い申し上げます。

おりしも、ユネスコでは『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録され、宗像の名が日本中へ、そして世界に発信されます。これを追い風にして宗像高校創立百周年を祝い、さらに次の百年に向けて勢いを付けたいものです。

それでは会員の皆様のますますのご清栄と百周年記念事業の成功を祈念してご挨拶とさせていただきます。

会長退任の挨拶



前同窓会会長
川島 照亮
(宗高二回卒)

同窓会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成二十五年七月に同窓会長として御承認いただき、爾来二期四



第47号

2017年8月25日

* 発行所 *
宗像高等学校同窓会
竹井 淳

* 印刷所 *
クワノフォーム印刷

福岡県立宗像高等学校
同窓会事務局
〒811-3436
福岡県宗像市東郷6-7-1
TEL.0940-36-4422



質實剛健
自彊不息

年、平成二十七年四月の中高一貫校開校など多くの思い出を持って此の度、退任いたしました。これまでの皆様の御協力、御支援に心から感謝申し上げます。

顧みますと、会長就任後はもとより私の同窓会役員としての思い出は、故伊豆善也名誉会長の功績を語らずして筆を執ることはできません。『宗像の教育をよくする会』に始まり、福岡県の教育正常化に立ち上がった勇姿。小路によらず大道を貫かれるその信念は大きな存在でありました。その間、二度にわたる



伊豆名誉会長に引き続き命日3月7日に
出光佐三翁を墓参される川島前会長

母校全面改築に多大なお力添えを頂き、また、中高一貫校の立上げにも御尽力を頂いた功績に深謝の念を忘れません。楽しみにしておられた創立百周年を待たずに旅立たれ、御教示を賜ることが叶わぬこととなり残念でなりません。この御恩に報いる為にも、百年という歴史の大きな節目に居合わせた者として、母校から要望のありました『部室棟・グラウンド夜間照明』の施設整備を同窓会の記念事業として何としても叶えなければ

ばならないと考えております。

会長在任中は、本部総会や東京支部を始め各支部総会で多くの同窓の方々と触れ合うことができ、それが私にとつて心の栄養となりました。これからは、この心の栄養を大切にして創立百周年記念事業に邁進いたします。後任には、母校十六代校長経験者で創立百周年記念事業にも最適任者であります、竹井淳会長にお願いいたしました。新会長には会員の皆様方の一層の御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校の益々の発展と繁栄そして同窓会の発展、充実を祈願し、併せて同窓会員の皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。退任の挨拶といたします。

百年風雪を超える大樹



校長
古川浩輝

ふとそよぐ涼風に新しい季節の訪れを知る頃となりました。宗像高等学校同窓会の会員の皆様には、平素より本校の教育活動に対して物心両面にわたる力強いご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、宗像中学校も開校三年目を迎え、中高一貫教育校として全学年が揃い体制を整えたところです。校訓「質実剛健・自強不息」の精神は中学生にも浸透し、中学・高校共に本校生の体幹となっています。

出光佐三翁が唱えられた「宗像人は非常に素直で優しく一致団結する。而も積極的な性格を持っている」という醇風美俗を持つ本校生徒をさらに育てるために、今年は「コミュニケーション力と主体性に富み、チャレンジ精神を持って生き抜く生徒の育成」を学校目標として取り組んでいます。若木から育ち、百年の風雪に絶えた大樹にまた新たな若葉が芳しく次々に芽生え大きく延び繁ようとしています。

毎年六月に本校卒業生の教育実習生十数名が参ります「夢に向かって」羽ばたいた卒業生が教育実習を終えてまた一段と逞しくなった翼で飛び立っていきます。母校というのは何と温かく、生きる力をあたえるものかと感慨深くなります。同窓会員の皆様も機会がありましたら是非母校へお立ち寄りください。時代が移り校舎が変わっても、そこに息づく魂は不滅です。

結びに、今後とも宗像中学校・高等学校への叱咤激励と温かいご支援をお願い申し上げます。

同窓会新体制について

【本部役員】

名譽会長 川島 照亮 (宗高3回卒)
顧問 問 麻生 和正 (宗中24回卒)
" 吉田 晃 (宗高2回卒)
" 真武 邦彦 (宗高7回卒)
" 小室 宏孝 (宗高15回卒)
" 橋本 浩 (宗高26回卒)

【各支部役員】

東京支部 支部長 森 誠 (宗高18回卒)
副支部長 古瀬 保子 (宗高19回卒)
" 池田 正則 (宗高20回卒)
事務局長 遠藤 潤二 (宗高20回卒)
関西支部 支部長 安部 八洲男 (宗高12回卒)
副支部長 小山 嘉代子 (宗高14回卒)
北九州支部 支部長 川端 正 (宗高17回卒)
副支部長 川端 正 (宗高17回卒)
事務局長 高山 日出徳 (宗高8回卒)
副支部長 花田 清隆 (宗高10回卒)
福岡支部 支部長 鈴木 文代 (宗高15回卒)
副支部長 越智 大和 (宗高13回卒)
事務局長 安部 邦子 (宗高15回卒)
副支部長 森田 勝幸 (宗高17回卒)
宗像市役所支部 支部長 中島 睦雄 (宗高17回卒)
副支部長 安部 有樹 (宗高48回卒)
事務局長 石松 豊幸 (宗高27回卒)
副支部長 中野 和久 (宗高28回卒)
" 吉川 弘達 (宗高31回卒)
" 三好 康之 (宗高28回卒)

【退任】

会長 川島 照亮 (宗高3回卒)
副会長 近藤 清志 (宗高6回卒)
" 立部 順子 (宗高13回卒)
監査委員 花田 常樹 (宗中23回卒)

平成28年度 大学等合格者数一覧

国立大	合計	現役	過年
埼玉大	1		1
電気通信大	1		1
静岡大	1		1
新潟大	1		1
神戸大	1		1
鳥取大	1		1
広島大	2	2	
九州大	17	10	7
山口大	7	4	3
九州工大	18	12	6
福岡教育大	16	10	6
佐賀大	17	12	5
長崎大	10	9	1
熊本大	10	4	6
大分大	5	4	1
宮崎大	5	4	1
鹿児島大	6	4	2
鹿屋体育大	1	1	
琉球大	4	4	
国立大計	124	80	44

公立大	合計	現役	過年
会津大	1	1	
静岡文化芸大	1	1	
大阪市立大	1		1
島根県立大	1	1	
尾道市立大	1	1	
県立広島大	1	1	
広島市立大	1	1	
山口東京理科大	1	1	
下関市立大	2	2	
北九州市立大	21	20	1
福岡県立大	5	5	
福岡女子大	4	4	
長崎県立大	3	3	
名桜大	1	1	
公立大計	44	42	2
国公立大総計	168	122	46

私立大	合計	現役	過年
国際医療福祉大	2	1	1
共立女子大	1	1	
工学院大	1	1	

私立大	合計	現役	過年
駒澤大	1		1
芝浦工大	1		1
昭和女子大	1	1	
創価大	1	1	
拓殖大	1	1	
中央大	6		6
帝京大	1	1	
東京農大	2		2
東京理大	1		1
東洋大	2		2
法政大	1		1
関東学院大	3	3	
金沢工大	2		2
京都産業大	1		1
同志社大	11	2	9
佛教大	1		1
立命館大	32		32
龍谷大	1		1
大阪学院大	1	1	
関西大	1	1	
近畿大	25	5	20
関西学院大	3		3
天理大	1	1	
環太平洋大	1	1	
広島工大	6	6	
広島国際大	3	3	
九州共立大	3	3	
九州国際大	3	3	
九州産大	22	18	4
九州女子大	3	2	1
久留米大	2	2	
久留米工大	1		1
産業医大	3	2	1
西南学院大	62	30	32
西南女学院大	4	4	
第一薬大	1	1	
筑紫女学園大	18	18	
中村学園大	12	8	4
西日本工大	3	1	2
福岡大	99	63	36
福岡工大	24	9	15
福岡女学院大	14	13	1
九州栄養福祉大	3	2	1

私立大	合計	現役	過年
日赤九州看護大	3	3	
福岡女学看護大	5	5	
純真学園大	5	4	1
西九州大	1	1	
長崎国際大	2		2
崇城大	4		4
九州ルーテル大	1	1	
日本文理大	1	1	
立命館アジア大	1		1
九州保健福祉大	2	2	
総計	416	226	190

短大	合計	現役	過年
中村学園大短大	2	2	
精華女短	1	1	
福岡女学院大短	1	1	
九州女短	3	3	
西南女大短大部	1	1	
福岡女短	1	1	
総計	9	9	0

専門・各種・その他	合計	現役	過年
福岡医健専門	3	3	
福岡歯科衛生専門	1	1	
美萩野医学技術専門	1	1	
福岡美容専門	1	1	
西日本アカデミー	1		1
バンダイゲームアカデミー	1	1	
神田外国語学院	1	1	
中部楽器技術専門	1	1	
福岡ビューティーツ専門	1	1	
大原学園	1	1	
公務員ゼミナール	1	1	
麻生公務員専門	3	3	
福岡カレッジオブビジネス	2	2	
九州職能大学校	1	1	
航空保安学生	1		1
海上保安大学校	1	1	
海上保安学校	2	2	
防衛大学校	3		3
福岡県警	1	1	
宗像市役所	1	1	
総計	28	23	5

平成29年度 人事異動

【転出者】

《管理職》山本 博康 教頭先生
筑紫丘高校へ

《事務》赤尾 恵美 事務次長
八幡南高校(事務次長)へ

《事務》松永 亮 香主任主事
筑紫丘高校へ

《高校教員》木下 智子 先生(国語)
三瀬高校へ

《高校教員》松元 英彦 先生(数学)
香椎高校へ

《高校教員》畑山 李 先生(家庭)
退任

《高校教員》國松 勲 先生(公民)
退任

《高校教員》花田 豊 先生(理科)
退任

《中学校教員》土器 恵理 先生(英語)
新宮中学校へ

《中学校教員》久保 佳菜 先生(英語)
福岡東中学校へ

《中学校教員》武内 勉 先生(技術)
退任

《管理職》伊藤 啓一 教頭先生
博多青松高校より

《事務》國廣 美佐子 事務次長
香椎高校より

《事務》中野 寛 主事
新規採用

《高校教員》磯部 久美子 先生(国語)
光陵高校より

《高校教員》小出 宏治 先生(数学)
北筑高校より

《高校教員》熊本 悠美 先生(歴史)
新規

《高校教員》平松 葉子 先生(家庭)
新規

《中学校教員》藤田 亮太 先生(数学)
八幡高校より

《中学校教員》美野 陽子 先生(英語)
宇美南中学校より

《中学校教員》香野 福美 先生(英語)
新規

《中学校教員》幸 省吾 先生(芸術)
新規

《中学校教員》野中 悠大 先生(技術)
新規

平成29年度 年間行事予定

4

April

高校入学式/中学入学式
早朝指導(高1)
国際交流活動(中2)

5

May

開校記念講演会
講師:住友林業(株) 取締役専務執行役員
和田 賢 氏 (宗高26回卒)
自立と協働を学ぶ体験活動(中1)
中間考査
文化祭

6

June

自立と協働を学ぶ体験学習(高1)
企業訪問(中3)
期末考査
大学訪問(中2)
世界遺産見学(中1)

7

July

クラスマッチ(高校)
三者面談
宿泊学習(高2)

8

August

9

September

体育祭

10

October

中間考査
漁業見学及び農業体験(中1)
職場体験学習(中2)

11

November

中学校開校記念式典
期末考査

12

December

鍛錬登山(中3)
修学旅行(中2)
三者面談

1

January

修学旅行(高2)
国際交流活動(中1)
国内語学研修(中3)
百人一首大会(高1)

2

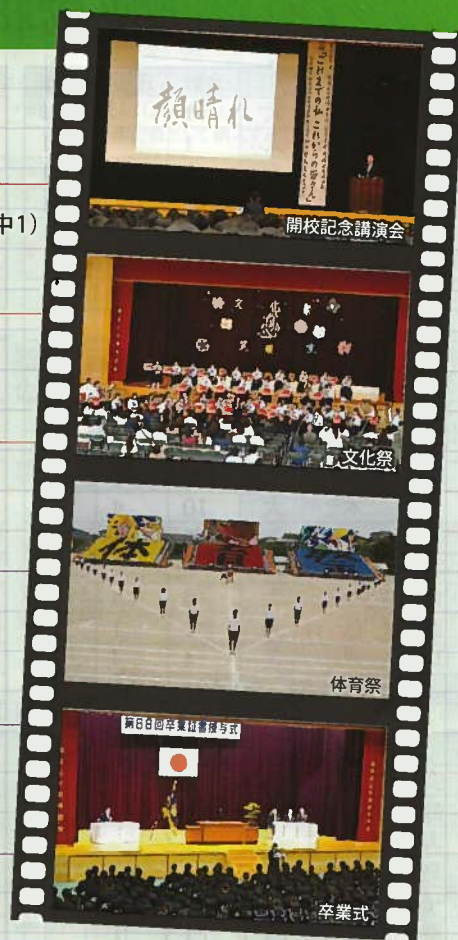
February

耐寒登山(高1)
学年末考査

3

March

高校卒業式
クラスマッチ(高校)
中学卒業式



平成28年度

部活動結果

《世界大会出場》

●電気物理部

『ロボカップ2016 世界大会』

6月29日～7月6日 ライプツィヒ(ドイツ)

《全国大会出場》

●空手道部

『全国総合体育大会空手道選手権大会』

7月30日～8月2日(山口県)

『JOCジュニアオリンピックカップ』

第36回全国高等学校空手道選手権大会』

3月26日～28日(大分県)

●総合運動文化部

・少林寺拳法『全国高等学校
少林寺拳法選抜大会』

3月24日～26日(香川県)

・馬術競技『国民体育大会』

少年団体障害飛越部門「男子1名」

10月1日～11日(若手県)

●電気物理部

『ロボカップジャパンオープン2017』

3月25日～26日(岐阜県)

サッカーライオンエイトリーグ(中高出場)

サッカーオープンリーグ

●水泳同好会

『国民体育大会』

9月9日～11日(若手県)

《九州大会出場》

●空手道部

『第65回全九州空手道選手権大会』

7月8日～10日(宮崎県)

『第42回全九州空手道選手権大会』

7月16日～17日(宮崎県)

『全九州高等学校空手道新人大会兼
全国高等学校空手道選抜大会予選会』

11月11日～13日(長崎県)

●総合運動文化部

・馬術競技『国民体育大会
第36回九州ブロック大会』

7月16日～17日(宮崎県)

・バイオリン『第40回全九州高等学校
音楽コンクール 器楽・管弦楽部門』

11月12日(福岡県)

・少林寺拳法『第3回九州高等学校
少林寺拳法選抜大会』

12月10日～11日(福岡県)

・バスケットボール部

『第64回全九州高等学校水泳競技大会』

7月16日～18日(大分県)

『九州新人大会』[3名出場]

10月1日～2日(福岡県)

『バスケットボール部』

『全九州高等学校
バスケットボール春季選手権大会』

3月19日～20日

●電気物理部

『ロボカップジュニア2017
九州ブロック大会』

1月8日(福岡県)

サッカーオープンリーグ 1位

サッカーライオンエイトリーグ

(高校1位)(中学3位)

『九州高等学校生徒理科研究発表大会』

1月28日～29日(福岡県)

研究発表物理部門・最優秀賞、
ポスター発表・優良賞

●県大会出場

●バレーボール部(男子)

●バスケットボール部(男女)

●ハンドボール部(男女)

●ソフトテニス部(女子)・個人

●テニス部(女子)・団体・個人

●陸上競技部(男女)・個人・中学(男子)・駅伝(女子)・個人

●水泳同好会(男女)・個人

●弓道部(男子)・団体・個人、女子・個人

●剣道部(男子)・個人

●空手道部(男女)・団体・個人

●卓球部(女子)・個人

バスケットボール部

同窓会の皆様には日頃から生徒たちの活動に対し、ご支援賜り感謝申し上げます。また、本年3月

に4年ぶりの九州大会出場を果たすことができましたがその際にはOBOG会からもご支援賜り、紙面をお借りしまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、我々男子バスケットボール部は現在総勢45名で日々の練習に励んでいるところです。ご存じの方も多いたとは存じますが、この宗高がある福岡中部ブロックは全国的に見ても他に類を見ない程の激戦区であり、日本代表や外国人留学生を擁し、全国優勝を果たす程の実力を有した私立高校が存在する地区です。この激戦区で生徒達は鎬を削ることで、着実に力をつけています。100周年に向け念願の全国大会出場を果たし、全国にその名を轟かせることができるよう励んでいきます。生徒達は質実剛健・自強不息の校訓のもと日々の生活を送っていますのでこれからも御声援の程宜しくお願いします。



ウインターカップ福岡県決勝 (H28.11)



体育部壮行会 (H29.4)

電気物理部

電気物理部は、現在主に2つの活動に取り組んでいます。

一つはロボカップというロボットサッカーの競技会に出場することで、今年6度目の世界大会出場を果たしました。

もう一つは、自然現象を研究し、全国高総文祭で発表するという活動で、こちらも6度出場し、2度の全国制覇を果たしています。

生徒たちはロボットの製作を通して、製作技術や研究に没頭する姿勢を身につけます。

そして、その経験を踏まえて科学研究を行うことで、高い水準の研究を行うことが可能になります。2つの活動で全国トップレベルの成果を上げ続けるのは大変ですが、両方行うことに価値があると考えます。

これからも生徒と共に、妥協のない活動を続けて参ります。



世界大会ライブツィビ(ドイツ) (H28.7)

野球部

現在、宗像高校野球部は、目的を「人間力育成」、目標を「甲子園で校歌を歌う」として日々精進しています。

合言葉は、「すべてはチームのために」です。今までの先輩方がなしえなかった、甲子園。宗像高校100周年でぜひ叶えたいと思っています。平成30年、夏の甲子園大会も100回大会を迎えます。何かの縁を感じずにいられません。100回大会は、福岡県から2校甲子園出場となっております。

北部に参入して県大会に出場していませんが、ここ10年の成績は、県大会出場3回、市長杯優勝1回、準優勝1回、公立高校大会優勝2回です。

福岡は激戦区ですが、何としても生徒と甲子園の舞台に立ち、甲子園で校歌を歌いたいと思っています。多くの方々の支えが生徒の励みになっております。

チャンスをものにし、甲子園への切符を必ず手にしたいと思っています。



第99回全国高等学校野球選手権福岡大会 (H29.7)



ラグビー部

宗高ラグビーは、平成32年に創部70周年を迎えます。思い起こせば、これ

までOB会の立ち上げ準備から携わってきて、名簿つくりや組織作りに永い間奔走してきました。

平成15年総会が、新たなOB会活動の機会となり、OB・OG会費の納入勧奨活動、定期的な会報の発行等実施。さらに55周年記念誌発刊等を全OB・OGが協力して遂行しました。

主な活動は、毎月の幹事会開催、年3回会報発行、夏の合宿時の激励会、全国大会予選前の壮行会、正月2日のOB戦運営やその後の現役との懇親、そして卒業生送別会参加等々。他方、現役強化として花園観戦の財政支援や練習防具の寄贈等支援活動に取り組んでもいます。今後は70周年記念事業を成功させ、現役のサポートや強化に努めていきます。

OB会長
広 渡 雅 孝



会報 ペンリレー スタート!!

第1回



安部 有樹
(宗高四十八回卒)

平成九年に卒業しました安部有樹です。甚だ僭越ではありますが、川島照亮前会長が「会報」の新しい企画として始められました「ペンリレー」の第一回目を担当させていただくこととなりました。

私が母校を後にして二十一年が経ちます、そこで「同窓会」への思いの一端を述べてみたいと思います。

◆「無縁社会」に対峙して

日本が「無縁社会」と言われて久しい。国、各地方自治体も策を講じてはいるが、一朝一夕に効果が表れるものではない。この何とも寂しい響きの社会を生き抜く一つの拠り所として、同窓会を捉えることも一考であると思うのである。

私は両親のお陰で幸いにも大学ま

で進学することができた。私は東京の大学に進学したが、卒業後の繋がりを考えてみると、やはり高校時代の繋がりは特に強固であるように感じる。先輩方から連綿と受け継がれてきた「タテ」の繋がりと同級生同士の「ヨコ」の繋がりを、現下の無縁社会を生き抜く拠り所と位置付けるといふ発想は大袈裟だろうか。

◆同窓会が果たす役割

では、そもそも同窓会が果たす役割とは、何であろうか。

従来の役割としては、運動部が全国大会に出場したり、今回の母校のように、周年記念事業で費用を募ったりするという後方支援的な側面があるだろう。

また、特に我々のように「現役」世代にとつては、同窓会に参加することで、仕事上の繋がりが生まれるきっかけとなる等実利的な一面もあるのではないか。

しかし、私はそのような一切を抜きにして、ただ旧交を温める場であるということだけで十分ではないかと思うのである。世代を越え「宗高卒業」という共通項だけで、一瞬にして繋がることができる、これだけよいのではないだろうか、と。

◆未来への「レガシー」

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック(オリパラ)が、刻一刻と近づいてきている。平成二十四年(二〇二二年)のロンドンオリパラ以来、「レガシー」という言葉が聞かれるようになった。レガシーとは本来「遺産」という意味であるが、オリパラの文脈においては会場等を大会時のみではなく、その後の継続使用も考慮して新設するといった意味合いで用いられる。

私は今回の百周年は、母校にとつてオリパラのような意味を持つと考えている。つまり、これまでの百年の節目であると同時に、次の百年に向けた新たな出発点として位置付けることができると思うのである。

◆次の百年へ

我々は、今回記念事業として設置される照明や部室整備等の「ハード面」に加えて、「ソフト面」にも思いを致したい。それはとりもなおさず、これまでに先輩方が継承してこられた「質実剛健、自強不息」の校訓、そして次世代に向けた我々からの新たなメッセージに他ならないのではないか。

今から百年後、つまり母校が二百周年を迎える際、恐らく我々の世代

が二百周年記念式典に参加することは、ないだろう。

形あるものは、いつか消えゆく。しかし、形のないものこそ時を超えて受け継がれていくものであり、また受け継いでいくべきではないだろうか。

我々が未来の後輩たちに残せるものは、果たして何であるのか。百周年を迎えた今、我々卒業生の責務として、考える必要があると考える。

◆志を果たしに・・・

日本人であれば誰もが知っているであろう唱歌「ふるさと」。三番目の歌詞に「志を果たしていつの日にか帰らん」とあるが、私はこれからの時代、ふるさととは「志を果たしに」帰る場所となるべきではないかと考えている。

幸い宗像市も「宗像市人口ビジョン」の中で、将来の方向性の一つとして「若い世代が暮らしたい街の実現」を掲げている。この精神的土壌が若者の間に広がれば社会全体の価値変革が起きるのではないだろうか。

かく言う私も、上述のように東京の大学に進学した理由の一つに、「宗像から出たい」という想いがあった。在学中、中国(上海)に留学もしたが、今振り返ってみると、外から客観的に見つめることができたからこそ、

宗像の素晴らしさを再認識することができたと考えている。後輩の皆さんも機会があれば是非、国内外を問わず、積極的に外の世界を見聞してほしい。

◆終わりに

母校を離れ既に二十年近くが経過したが、今でも母校の校訓は私を精神的に支える「レガシー」として、心の中に在る。

後輩の皆さんも「質実剛健、自強不息」の精神と共に、感謝の気持ちを忘れず、二度と戻らない貴重な三年間を、部活、勉強、友人と過ごす時間：何でも構わない、とにかく全力で生きてほしいと切に願っている（次回執筆は私の同級生、本垣内英人さんです）。

活躍する 同窓生

母校の学びを
キャリアに

私は二〇一二年三月に宗像高校卒業した鋤先と申します。

宗高在学中は電気物理部に所属



し、二〇〇九年オーストリアで行われたロボカップ世界大会に出場することができました。其の節は、同窓会をはじめ多くの方々にご支援を頂き、誠に有り難うございました。

卒業後は、筑波大学理工学群工学システム学類に進学。筑波大学大学院システム情報工学研究科知能機能システム専攻を今年三月に卒業して、四月成田国際空港株式会社に入社しました。

現在社内所属は、空港運用部門滑走路保全部 航空無線グループというところ。本部署での業務内容は、航空保安無線施設と呼ばれる装置（着陸時に航空機を滑走路へ誘導する電波を出す装置など）の運用、管理等になります。また、弊社では二～三年に一度必ずジョブローテーションがあるので、二～三年後は異なる業務を行います。私の場合ですと、空港ターミナル内の施設、例えばFIS（航空機が何時にどこ行きで何番ゲートとか表示している電光掲

示板）等を管理しているかもしれませんし、IT系の部署にいるかもしれません。また、子会社や関連会社、国土交通省への出向の可能性もあります。

先週、業務で必要な資格（第二級陸上無線技術士）試験を受験しました。内容は法規、無線工学の基礎、無線工学A、無線工学Bという四科目ですが、無線工学の基礎は高校物理プラスαといった程度です。全体の合格率は二割程度で三〇〇時間程度の学習時間が必要と言われておりますが、私の学習時間は実質三十分程度でした。自己採点の結果合格できたと確信しております。その理由としては、やはり高校時代からの積み重ねがあったからこそだと実感しております。社会人になってからも高校や大学のような勉強をする機会があるとは思っていなかったのですが、大きな社会勉強となりました。

そして、高校、大学時代に効率良く学習するテクニックや自分にあった勉強の型、集中して勉強する時間を継続するスキルなどを鍛えておくことが大切だと実感しました。

大学の同じ専攻の大多数はメーカー（日立やNEC、トヨタや日産など）に研究職や開発職で就職しますが、私はインフラ系の会社に技術系

総合職として就職したいと考えました。その理由は、以下の通りです。

- インターンシップ等でメーカーの職場の雰囲気よりもインフラ系の会社の雰囲気の方が好きだと感じたため。

- 技術系（理系的要素）を含みつつも、総合職（ジョブローテーション）のある飽きない環境に身を置きたいと考えたため。

- 首都圏で通勤なしという刺激を受け続けられる環境に身を置きたいと考えたため。

- ドローンに関する研究していたこともあり？ 航空機に多少の親しみがあつたため。

右記のことに気づいたのは、視野を広く持ち、様々なインターンシップや説明会等に参加したり、先輩など多くの人に話を聞いたからだと思います。今後とも人とのコミュニケーションを大切に、広い視野を持っていきたいと思っています。

最後になりましたが、創立百周年に向かつて宗像高校同窓会がますます発展されることをお祈りします。



支部長会議の開催について

平成二十九年七月二十三日総会に先立ち支部長会議が開催されました。

会議では、各

支部より代表者が集まり、百周年記念事業に向けての各支部の取り組みなど、活発な意見交換が行われました。



平成29年度 同窓会

総会・懇親会を終えて



当番幹事
青木 一 乗
(宗高33回卒)

平成二十九年年度同窓会総会・懇親会の開催に当たり、大勢の皆様方にご参集いただきましたことを心より御礼申し上げます。

さて、二年前にこの度の同窓会総会・懇親会の当番幹事が自分たち高校三十三回生に回ってくるのが分かった。すぐに学年の同窓会を実施しました。その後、半年に一回の同窓会を重ね、実行委員の選出や役割分担を

早めに決め、十歳下の四十三回生(チケツト一〇〇枚販売)と、二十歳下の五十三回生(チケツト二〇〇枚販売)へ連絡を取り、当番幹事会にも参加してもらいました。このように多くのメンバーで取り組めたことが、多くのチケツト販売(合計九五三枚販売)、そして多くの参加者(五五〇名以上参加)へと繋がった要因であったと思います。

各地区の同窓会事務局、各学年の幹事様、また校内幹事の先生や同窓会事務局のお力添えをいただきながら全体で作り上げることができた総会・懇親会であつたと思います。来年の総会・懇親会、そして再来年の百周年行事へと続くステップになったと、当番幹事一同喜んでいきます。

また、当日急遽集めさせていただきました「北部九州災害対策義援金」には多くの皆様のご賛同をいただき、総会当日募金いただきました一五五、〇〇〇円と当番幹事(三十三回生)の六五、八六二円の合計二二〇、八六二円を「西日本新聞災害対策基金」(七月二十七日朝刊に掲載)へ送らせていただきましたことをご報告します。多くのご支援有難うございました。

九州豪雨 救援金寄託者 西日本新聞災害対策基金 (敬称略)	【26日】100万円 修建 築工房(筑紫野市) 50万円 ニシゲートコーポレーション (西山寛社長、広島市) 30万円 安岡内証(東区) 22万円 862円 宗像高校同窓会(竹井厚会長) 同校33回生 同窓会当番幹事(宗像市) 18万円 日新会稲永病院(稲永國勝理事長、筑前町) 17万1千円 日新会稲永病院
--	--

法被・記念碑デザインについて

法被は、日本の伝統衣装で、祭などの際に着用し、また職人などが着用する印半纏です。

宗像高校百周年にあたり、これを記念して宗高二回卒(昭和二十六年)で宗像を代表する画家の花田喜八郎氏に記念式典用の法被をご依頼しデザインしていただきました。

また、記念碑についても、同窓会で現在考案中です。

法被デザイン案



花田喜八郎氏(宗高2回卒)デザイン

記念碑デザイン案



(写真は現時点でのイメージです。実物とは異なります。)

サニブラウン・アブデル・ハキーム君を応援する取り組み

サニブラウン・アブデル・ハキーム選手は、6月に開催された陸上日本選手権において、100m、200mの2種目に優勝し、8月4日(日本時間5日)からロンドンで開催された「第16回世界陸上競技選手権大会」に日本代表として出場しました。また、100mでは日本人初の9秒台の期待が大きく、2020年東京オリンピックにおいてもその活躍が注目されている競技者です。

彼の母親である明子氏(旧姓伊藤明子)は、宗像高校35回生で、3年生時には、陸上競技部員として100mと100mハードルで愛知インターハイへ出場を果たすな

ど、陸上競技部の輝かしい伝統をしっかりと築き上げた部員の一人です。

そこで陸上競技部OB会は、世界で活躍する彼女のご子息であるハキーム君に対し、この宗像の地から応援したいと考えております。つきましてはこの取り組みにご賛同いただける方に一口1,000円の賛助金をお願いし、応援資金にしたいと考えております。

振込口座／福岡銀行 宗像支店 普通 1838964
宗像高校陸上競技部OB会 代表 小田 真一

各回
だより

宗中22回生

昭和20年卒業

二十二回宗中卒業同窓会を、三月三日、いつもの神湊末広で行った。

例年、末広で行っているのは、先の経営者が同窓であつたためである。八十八歳の米寿を乗り越えて参加したのが十一名で昨年と同じ参加数であつた。

会食前には、それぞれの近況を語りあい、体の不調(耳の遠さ、眼の悪

22回宗像中学校卒業生同窓会



さ、膝の痛み等)のさすがに老化を感じ。その後の会食、例年の「ふく料理」を楽しむ。飲み食への飲食の後、記念撮影をし、そろそろお別れの時間になる。一年各に年を重ね、この会

も今年でおわりかと思われたが、来年も十名以上の参加者があれば開くことに決まり、会を閉じそれぞれ再会を約して帰路に着く。

思えば、昭和十六年入学、開戦の年の入学であつた。戦時中の中学生活、昭和二十年の四年生での繰り上げ卒業、百三十名の入学した同胞は、今どこで何をしているであろうか? 感無量のものがある。

宗中23回生
宗中24回生昭和21年卒業
昭和22年卒業

本年二月十八日、伊豆善也氏の突然の訃報に接し、大変な衝撃を受けました。私たちの同級生であり、平成七年五月から平成二十五年七月まで十九年間、長年に亘って宗高同窓会会長として本校同窓会の発展に尽くされ、また地域社会への貢献度抜群で、その功績は計り知れないものがあります。その死は「正に巨星



落つ」の感慨ひとしおのものがありません。

私たちは在学の大半が戦時中のために卒業回数が二回(昭和二十一年、二十二年)に別れているために、非公式に(昭和十七年入学ということから)宗中十七会を組織し、平成十一年四月に発足して、会則、慶弔規定を設け、年会費を納付し、毎年四月中

旬に総会を開催するようにしています。会員数は結成当初六十二名でしたが現在は二十八名で、その中で十四名(十五名が元気にしている状態です。伊豆氏は十七会の中で中心的存在であり続けました。

今年是我们「米寿」を迎える記念の年にするために、一月下旬に、役員有志が伊豆氏を訪ねて総会の打ち合わせをしました。期日は例年より早く三月十六日(木)、宗像大社に参拝し「米寿の祝」祈願した後、宗像市江口「花わらび」で懇親会。彼が楽しみにしていたこの日を待たずに逝つてしまいました。総会では彼と共に在った年月を偲びながら語り合い、歓談し、お互いが現在健康でいることに感謝し、そして会の存続を三年後の東京オリンピックの年に決することにして閉会し、次年度を約束して帰路に着きました。

(文責 門司)



宗女17回生

昭和23年卒業

腰曲がり杖をたよりに、集いました。友の情報をたしかめて、安堵しました。

身体はあちこち、痛いところだらけ。でも、負けてはならない。がんばって来年も友達に逢いに行こうという意気込みで、皆さんに呼びかけます。約束の場所に集まるのが気がかりです。どうぞ道中気をつけてお集まりください。

来年は米寿の祝いをかねて実施します。体調を整えておいでください。

宗像市係より



昨年九月二十六日の同窓会の写真です。一部の人がバスの関係で帰られたあとに残りの人のみで写しました。

宗高2回生

昭和26年卒業

世の中は三日見ぬ間に桜かな

(夢太)

日本人は江戸時代から「花見」を村の行事として恒例化していたようである。だが、暮らしに余裕のない当時の農民達は、この純白と薄いピンク色に透き通らせた桜花をどのように鑑賞し心に深く染み込ませていたのであろうか。多忙な生活の合間に横目で、ただ惜しみながら観ていた人達もいたのではないだろうか。また、多くの人達は短命で鮮やかで見事な咲きつぶりを見せるこの桜花を、自分の人生に重ねながら惜別の情感として折り込み眺めた時期もあったのである。日本人の心には深く伝わる句である。

既に八十路を歩き始めた「二十年会」は、今年も天候穏やかな日に、響灘を望む「ひびき荘」に集まった。物故者への黙祷、意外な友人の訃報に言葉無くしながらも、我々はその年代に差し掛かっていることを自覚し頭を垂れ黙祷した。

大病を何とか乗り越えた田原さんは、福岡市から長男の車で早い時間に到着されたとおっしゃられた。久しぶりの旧友との出会いで往時のことなど思い起こされたことで



しよう。一般的に、女性は男性に比べて遙かに健康長寿であることは疑念の余地をもたないが、そのことが家族の幸せのためには如何に有り難いことか計り知れないものがあり素晴らしい贈り物と言えよう。前回に比べてカラオケの盛り上がりはやや欠けていたように思えるが、出席者の表情には健康そのものであったことを強く印象付けられたことは、今回の大きな収穫であり、また会の意義があつたように思う。

丁度、この日の同じ時刻に、この会場前の響灘の沖には、旧宗像中学校校歌に詠まれている「雲漂渺の沖の島云々」を想起するような、危機一髪の状態が進行しつつあったことを、誰もが気付いていたのではないだろうか。世界最強の空母「カールビンソン」が駆逐艦を従えて日本海に向かつていたのである。北朝鮮は、十分に戦争状態に突入出来る態勢を整え構えていたようであるが、戦争状態にはならず無事に終わったことは何よりのことであつた。だが、このことが契機となり日本は憲法改正問題へと進むことになるような気配である。

戦後の日本は、世界に誇りうる「戦争放棄（平和主義）」を掲げた理想の憲法を持つ国である。果たして、この憲法を変えるという選択が、日本の未来にどのような結果をもたらすことになるであろうか。今、日本は重大な岐路に立たされているような気がしてならないのである。「日本は、国際社会に於いて名誉ある地位を占めたい」と記している。

同窓会に参集した友人達、そして様々な事情で参加出来なかった同窓生達のこれからの健康を心から祈念し、次回での再会を心から期待している。

「若さとは、ある人生の時期のこと

ではなく心のあり方のことだ。若くあるためには強い意志力と優れた構想力激しい情熱が必要であり、小心さを圧倒する勇氣と易きにつこうとする心を叱咤する冒険への希求がなければならぬ。人は歳月を重ねたら老いるのではない、理想を失ったときに老いるのである。」サムエル・ウルマン。この貴重な青春譜を再認識して、心身の若さを保ち、これからの生涯を生きて行こうと決意している。(世話人 K)

宗高3回生

昭和27年卒業

櫻の蕾が膨らむ初春の三月十日宗像の「華杏」に於いて第四十八回の同窓会を開催した。記念の写真撮影、物故者を追悼し黙祷、続いて青柳君の元気な声で乾杯、懇親会へと移った。諸般の事情により閉会が伝えられている状況のなか、前回より多くの四十一名の出席があり、四年ぶりの故郷での盛大な同窓会であった。久しぶりの参加者や馴染みの顔が揃い、お互いに元気であることを喜び、和気あいあいに一日を過ごした。

欠席された方々の近況報告では、元気に頑張つて過ごしているが遠出が困難という方、足・腰・膝などの症状で体調不良となられその回復に努め



られている方、老化の為止む無く入院生活となつていらっしゃるなどであった。皆様が早く元気になられる様に祈念し、米寿・卒寿を目指して次回の再会を約束しながら二台のバスに乗り込み散会した。(文責 瀧口)

宗高8回生

昭和32年卒業

五月晴れの五月十八日、昭和三十二年卒業生の同窓会を神湊の「魚屋別館」にて二年ぶりに開催しました。今回は中央中学校出身者が当番



幹事で案内し、出席者は男子十七名、女子五名の参加があり、懐かしい昔話やそれぞれの近況を語らい、歌や踊りの披露もあり、楽しいひと時を共有することが出来ました。今年は卒業してから六十年を迎え、欠席者四十九名から近況報告が寄せられ、同窓生への思いが伝わってきました。次回は玄海中学校出身者が当番幹事で引き継ぐことになりました。

二年後は我が母校は、百周年記念行事が予定されています。記念行事が盛大に行われることを祈願致します。(当番幹事一同)

宗高10回生

昭和34年卒業

二〇一六年七月三十一日、ユリックスでの総会に十一名出席し歓談しました。二次会は、王丸の「やまつばさ」で茶話会をして名残を惜しましました。

秋の親睦旅行は、十月十七日～十八日で萩・島根の益田市・津和野を訪れました。出席者は男性十三名、女性十七名で、四十人乗りの中型バスに揺られて談笑しながら行程を楽しみました。

一日目のメインは、萩市内です。中央公園からガイドさんの案内で、円

政寺、木戸孝允旧宅、菊屋家住宅と武家屋敷や町家をゆつくりと巡りました。少し時雨模様で傘が役に立ちました。萩を出がけに村田蒲鉾店に寄ってお土産を買い込みました。日本海側の百九十一号線の景色を楽しみながら一路益田市を目指しました。



宿泊先は、荒磯温泉「荒磯館」です。日本海の雄大な水平線を眺める露天風呂に入り、夕食は海の幸を堪能しました。夕食の広間で岩見神楽の種神楽保存会の社中の皆さんで、「四神」「大蛇退治」などを上演してもらいました。須佐能の尊と四匹の大蛇との絡み合いなどの熱演に大きな拍手を送りました。

二日目は、晴天に恵まれ益田市内の萬福寺雪舟庭園や柿本人麻呂の終焉の地の高津柿本神社を巡り、津和野に向かいました。津和野では、昼食に郷土料理の「うずめ飯」を味わいました。鯉のいる掘割の道を散策し、お土産に源氏巻を買い求めて帰路につきました。

道の駅「きくがわ」で夕食に「焼きそうめん」をいただき、再会を約束しながら帰途につきました。

八十歳まで後しばらく親睦旅行を続けたいと思っています。みなさんしつかり元気をキープして是非とも参加してください。

今年は、十月十六日(月)～十七日(火)の予定です。山口・九州内で無理なく行ける所で計画いたします。みなさまの参加を心よりお待ちしております。
(幹事一同)

宗高20回生

昭和44年卒業

私達は二年生の時の同窓会(クラス会)を三年毎に開催しています。

宗高二十回生二年五組(担任：上野正人先生、男子三十七名、女子十八名)の教室は、テニスコートに面した場所にありました。当時の校舎は木造平屋で渡り廊下があり、しっかりと落ちついた趣が感じられました。クラスマッチや文化祭、修学旅行など数々の思い出がある中でも、自分達で計画した夏休みの大島キャンプの楽しさは格別のものでした。秋にはハッピーな出来事が。二学期



のある日ホームルームで、前触れもなく先生が「結婚します」と発表された時には、歓声が沸き起こり大きな拍手で心より祝福したのを覚えています。結婚式には、生徒一同で祝電を送り、そのユーモラスな内容に披露宴ではワツと笑いが起こったと先生からお聞きしました。

三年進級でクラス替えがあり、そして卒業して別々の道を歩いて来た訳ですが、還暦を機に田中さんの呼びかけで思いも寄らぬ同窓会が実現したのです。初回は勝浦の「華杏」にて。四十余年振りの再会を喜び合い懐かしさで会は、一気に盛り上がりました。二回目は、塩田さんのお世話で岡垣の「ぶどうの樹」で。中野さんの編集による高校時代の写真が会場のスクリーンに映し出され懐かしさもひとしお和気あいあいの楽しい会となりました。

此の度は、三回目の同窓会で幹事長は堀口さん。博多駅に程近い「海山邸」にて。九月十六日(金)十二時より男子十二名、女子六名が出席しました。若くて新婚ほやほやだった先生も喜寿を迎えられ細やかなお祝いを致しました。恩師に感謝の気持ちを込めて「仰げば尊し」を、肩を組み合い宗像校歌を大合唱。およそ半世紀が経つ今でも縁あって一年間を

同じ教室で学んだ思い出に会話は尽きません。六十歳も半ばを過ぎ人生実りの時まだまだ現役で頑張る人、趣味に明け暮れる人など様々ですが、先生が各人の近況報告に熱心に耳を傾けられ、丁寧に書き留めて下さっていた事がとても嬉しく大変印象に残りました。二次会には、更に女子一名が加わり青春時代に流行した歌を次々に熱唱して楽しい時間を過ごしました。今回も遠くは関東関西からの参加があり別れを惜しみつつ、次回また必ずと誓い合ったものです。同級生って本当にいいものですね。あなたに会いたい友が待っています。(白石)

宗高26回生

昭和50年卒業

猛烈で大型の台風十六号の接近が危ぶまれる平成二十八年九月十八日(日)、無事昭和五十年卒業生の「還暦同窓会」が玄海ロイヤルホテルで開催されました。

代表幹事の武田邦宏さんを中心に、準備・企画・運営と限られた時間の中で、幹事・関係者の方が一致団結され、総勢二八名の参加のもと、節目である還暦同窓会が盛大に無事に開催されたこと、大変感謝しています。



二度と来ない大きな節目の集いに、学年の三割にあたる同窓生の参加があったことはそれだけ楽しみであり、多くの期待があったことと思います。

会場では、クラスごとのテーブルとなり、受付で手渡された名札を頼りに、高校時代の顔を思い浮かべ、記憶の糸をたどりながら、恐る恐る話しかけていきましたが、時間が経つにつれ、アツと言う間に高校時代の自分たち。

これからの人生の時間のなかにも、イレギュラーな予想していないこともあると思いますが、ひとつひとつ乗り越え、積み重ねながら、お互いより良い七〇歳を迎えたいものです。

参加頂いた皆さん、参加できなかった皆さんの今後のご健勝とご活躍をお祈りし、良い時間の記憶をお土産に、またの再開を楽しみにしたいと思っています。

いろいろと本当にありがとうございました。(参加同窓生より)

宗高33回生

昭和57年卒業

二〇一六年六月十七日に福津市「空海」で同窓会を開催いたしました。

二年後に控えた宗像高校の全体幹事を成功させるべく集まりまし



た。久々の同窓会で顔と名前が一致しない方もおられました。そこは同級生、すぐに打ち解け、昔の呼び名で呼ぶと不思議なことに高校時代に戻ったような感じがしてきました。やはりこの年になると話題は子供の成長のこと、仕事のこと、また病気のことなど多岐に亘りますが、大変盛り上がり全員で二次会まで参加しました。

各支部
だより

福岡支部

懇親会の活動

支部創設三十周年を迎えた平成二十七年に新しい取組みとして「宗像高等学校同窓会福岡支部」のホームページを開設し、今日まで多くの方にご覧いただいております。

主目的は会員への最新の情報伝達や在校生の活躍の紹介ですが、それ以外で人気が高いのは『ふる里探訪』のページです。「江戸時代より宗像福津地域を中心に脈々と継承された保険の原理で機能する医事制度」定礼(じょうれい)と言われる相互扶助の医の仕組みと文化は全国に例がないものでした。

戦前に現在の「国民健康保険」の制度創設の貴重なモデルとなり、日本の医療制度と国民の健康改善に多大な貢献を果たしました。医者の鏡と称される最後の「定礼医」・高村直嗣先生も紹介しています。

また、もう一人の坂本龍馬と称される幕末の志士「早川勇」なども掲載。「先人の姿に感動し郷土への誇りを感じました。人生の糧となるエピソードです」等々好評です。『会員メ



宗像高等学校同窓会 福岡支部のホームページによこそ！



<https://www.munakofb.com/>

ッセージ』のページは戦前戦後の若き日をなつかしく語られる先輩諸氏の一言が大変人気です。『同窓会員／ご利用案内』のページもご利用に際しての閲覧が多く人気です。

福岡支部以外のニュースも掲載しています。スマホやパソコン画面のYahooやGoogleで「宗像高等学校同窓会」「宗高同窓会」などで検索いただき、本支部の枠を超えた多くの同窓諸氏の語らいの場で折にふれて、話題の一助にさせていただきます。紹介し上げます。

総会・懇親会のご案内

平成二十九年年度の福岡支部総会(兼懇親会)を以下のとおりご案内いたします。

◆日時:平成二十九年十一月十二日(日) 十二時受付開始。十二時総会スタート

◆会場:ホテルオークラ福岡
(TEL:〇九二二六二二二二)

◆連絡:事務局長(中島睦雄)
電話:〇九〇一九四七九一八三七五

東京支部

第33回総会・懇親会

「朋あり遠方より来る、
また楽しからずや」

(論語 学而編)

平成二十八年十月三十日(日)、ハロウィンで賑わう東京お台場において、東京支部第三十三回総会・懇親会が開催されました。川島会長、古川校長ほか来賓の方々、現役の大学生七名を含む総勢一五八名の同窓生が一堂に会すなか、数十年ぶりの再会でお互いの変貌ぶりに驚愕を覚えつつも、一瞬にして若かりし頃の容姿を思い浮かべられる朋友に、ごく自然に「やあー久しぶり」という声が此



処彼処に響き合っていました。

総会では、まず、田中顧問からの動議により森誠新支部長(四十二年卒)就任の承認をいただきました。続いて、川島会長、古川校長から、ご祝辞とともに宗像の近況について参加者が思わず聞き入ってしまう郷愁の念を抱かせる内容のお話をいただいた後、新役員の紹介、会計報告等一通りの事項を滞りなく終え、懇親会へと進んで行きました。

(三) 一千名を超える関東近郊在住の同窓生に対し、記念総会を機に東京支部同窓会の存在をより強力にアピールする。

これらの施策の中で最も知恵を絞らなければならないのが、資金の工面です。

現状、支部会計には資金の余裕がないことから、今年度と来年度の支部総会の会場でご参加いただいた会員に募金として募り、ご協力いただいた方々に対して平成二十七年度に本部で作成したDVDを進呈しようとの考えに至りました。

このDVDは宗中や宗女に始まる母校の歴史や部活動の紹介など、懐かし興味深い内容になっており、皆さんにも喜んでいただけるものと思います。

記念総会参加者二百名もかなり頑張らないと達成できない高い目標です。過去最高は平成二十一年度の一九一名ですが、ここ数年は百五十名前後で推移しています。

なかでも昭和五十五年以降卒業の若い世代の参加者を如何に増やすかが大きな課題です。

東京支部の百周年に向けての取り組みは、まだまだ始まったばかりで、これから更に具体化していかなければなりません。私どもの現状での取り組みが少しでも他支部の皆さん

の参考になれば幸いです。

また、他支部の取り組みのなかで好事例があれば是非ご教示ください。よろしくお願いいたします。

以上

宗像高校同窓会東京支部事務局

遠藤 潤 二

関西支部

第31回総会・懇親会

関西支部総会と懇親会を二〇一六年十一月十二日(土)にホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)にて開催いたしました。同窓会本部より川島会長、竹井副会長、遠藤書記長、母校より古川校長、小田校内幹事、林田実行委員がご来賓としてご出席頂きました。また、東京支部から昨年に引き続き、嶺清光氏(三十四年卒)が来訪されました。

今回の参加者は、人数・六十名(男性三十五名、女性二十五名)となり、昭和二十六年(一九五一年)卒から平成二十七年(二〇一五年)卒までと幅広い世代が集い、現役の大学生も九名参加となり賑やかな総会・懇親会になりました。

総会では、まず全員で物故者に黙祷をささげました。それから安部支部長の挨拶、細川会計監査からの会



計報告の後、同窓会会長・川島会長の挨拶、母校の古川校長から新任の挨拶と母校の活動報告とOBの活躍の様子等のお話しを伺いました。

懇親会では乾杯のあと、昨年同様宗像弁で会話しようということになり、楽しい歓談となりました。また今回も最所氏(四十三年卒)のアカordeイオン演奏による曲目あてゲームを行い、難問の連続に皆頭を捻っていました。その後は毎年恒例のビンゴゲーム。一等の商品券や懐かしい故郷の郷土品等を目指して大いに盛り上がりしました。

それから遠方からの参加者を中心に皆で円陣を組んで校歌を合唱し、学生参加者による万歳三唱を行いました。

最後に全体の集合写真を撮り、また来年の再会を誓いました。

そして更にたくさん同窓生に参加していただける関西支部でありたいと願い、閉会いたしました。あつという間の三時間でありました。

第32回総会・親睦会

開催について

今年の関西支部総会・親睦会は、二〇一七年十月二十一日(土)に決定しています。昨年と同じ場所(交通便利で食事がおいしい)ホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)で開催いたします。

三十二回目の総会となります。関西地区のみならず、九州地区や関東



終身会費・年会費納入者一欄



平成28年4月1日から平成29年3月31日現在分を掲載

・終身会費：10,000円 ・年会費：1,000円

(年会費として納入するときは10年間納入)

松尾 久	《年會費》	宗高2回	宗高26年卒業	中村 愛子	《終身會費》	伊藤 文代	《終身會費》	立花 節子	《終身會費》	小川 喜久代	《終身會費》	宗高7回	宗高31年卒業	篠崎 博是	《終身會費》	平田 薫子	《終身會費》	吉田 貞子	《終身會費》	阿部 美弥子	《終身會費》	古賀 美子	《終身會費》	宗高5回	宗高28年卒業	岩佐 功	《終身會費》	宗高4回	宗高28年卒業	上妻 光	《終身會費》	高橋 賢一	《終身會費》	今林 日出雄	《終身會費》	阿部 昌弘	《終身會費》	石井 清之	《終身會費》	山本 田治郎	《終身會費》	伊藤 午郎	《終身會費》	宗高23回	宗高21年卒業	江口 栄一	《終身會費》	宗高24回	宗高22年卒業	石井 丸夫	《終身會費》	宗高16回	宗高22年卒業	宗高17回	宗高23年卒業	吉田 怜子	《終身會費》	阿部 美弥子	《終身會費》	宗高3回	宗高27年卒業	渡辺 ケイ子	《終身會費》	占部 幸久	《終身會費》	宗高10回	宗高34年卒業	赤間 晴彦	《終身會費》	石谷 和敏	《終身會費》	藤本 美智代	《終身會費》	栗原 ユリ子	《終身會費》	阿部 敏秀	《終身會費》	栗原 ユリ子	《終身會費》	次郎丸 なお子	《終身會費》	的場 道恵	《終身會費》	宗高19回	宗高43年卒業	寺嶋 まゆみ	《終身會費》	恒任 雅代	《終身會費》	宗高24回	宗高48年卒業	黒田 由美子	《終身會費》	藤田 美代子	《終身會費》	黒田 由美子	《終身會費》	富田 鈴子	《終身會費》	川上 政義	《終身會費》	宗高25回	宗高49年卒業	芝 栄一	《終身會費》	大庭 美知代	《終身會費》	稲富 裕	《終身會費》	寺嶋 茂久	《終身會費》	荒牧 明文	《終身會費》	宗高21回	宗高45年卒業	増中 由美子	《終身會費》	宗高26回	宗高50年卒業	小松 由美子	《終身會費》	野口 陽子	《終身會費》	福田 結香	《終身會費》	牟田 弘子	《終身會費》	宗高34回	宗高58年卒業	栗原 和亮	《終身會費》	高橋 理香	《終身會費》	篠崎 竜一	《終身會費》	宗高39回	宗高63年卒業	植木 大輔	《終身會費》	森田 陽菜	《終身會費》	宮本 万葉	《終身會費》	松井 紗和子	《終身會費》	榎田 志穂	《終身會費》	平川 愛梨	《終身會費》	西川 奈央	《終身會費》	永元 玲菜	《終身會費》	中野 由梨香	《終身會費》	中野 綾香	《終身會費》	辻 彩花	《終身會費》	谷 咲	《終身會費》	竹井 帆菜美	《終身會費》	田川 なすな	《終身會費》	高崎 琴乃	《終身會費》	志水 沙璃	《終身會費》	篠崎 桃乃	《終身會費》	小室 優生	《終身會費》	古賀 遥菜	《終身會費》	河合 春菜	《終身會費》	加藤 詩織	《終身會費》	片村 美月	《終身會費》	岡村 沙織	《終身會費》	磯野 裕花	《終身會費》	安部 奈々美	《終身會費》	阿部 朱里	《終身會費》	吉浦 英寿	《終身會費》	矢野 喬也	《終身會費》	田中 志祈	《終身會費》	高木 浩平	《終身會費》	高江 翔太	《終身會費》	薄井 達也	《終身會費》	白井 希	《終身會費》	島田 卓弥	《終身會費》	鬼塚 元氣	《終身會費》	奥野 拓人	《終身會費》	占部 雄大	《終身會費》	入江 将安	《終身會費》	今橋 大希	《終身會費》	尾崎 隆太郎	《終身會費》	加瀬 尚貴	《終身會費》	川口 太貴	《終身會費》	城戸 悠太	《終身會費》	岸 勇太	《終身會費》	高石 健司	《終身會費》	田中 翔万	《終身會費》	友末 幸伸	《終身會費》	橋本 優雅	《終身會費》	濱本 修真	《終身會費》	増矢 周平	《終身會費》	右田 樹	《終身會費》	湯元 祥太郎	《終身會費》	吉浦 未来也	《終身會費》	井上 菜穂子	《終身會費》	上田 のどか	《終身會費》	上野 真由子	《終身會費》	大場 美保	《終身會費》	岡田 真穂	《終身會費》	川上 結生	《終身會費》	河野 莉子	《終身會費》	川崎 真生	《終身會費》	川崎 麻生	《終身會費》	久保 愛佳	《終身會費》	齊藤 晴南	《終身會費》	竹本 あかり	《終身會費》	綱本 純佳	《終身會費》	中藤 理沙	《終身會費》	中村 穂乃香	《終身會費》	野村 琴音	《終身會費》	村田 江里	《終身會費》	門田 美空	《終身會費》	安永 朱里	《終身會費》	吉永 柊司	《終身會費》	間重 飛	《終身會費》	秋武 玲理	《終身會費》	安部 玲理	《終身會費》
------	-------	------	---------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	------	---------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	------	---------	------	--------	------	---------	------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	---------	-------	--------	-------	---------	-------	--------	-------	---------	-------	---------	-------	--------	--------	--------	------	---------	--------	--------	-------	--------	-------	---------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	---------	--------	-------	--------	-------	---------	--------	--------	-------	--------	-------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------	------	--------	--------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------	--------	--------	-------	---------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	------	--------	-----	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------

宗高68回 (平成29年3月卒業)

《終身会費》

森田 陽菜	《終身会費》	宮本 万葉	《終身会費》	松井 紗和子	《終身会費》	榎田 志穂	《終身会費》	平川 愛梨	《終身会費》	西川 奈央	《終身会費》	永元 玲菜	《終身会費》	中野 由梨香	《終身会費》	中野 綾香	《終身会費》	辻 彩花	《終身会費》	谷 咲	《終身会費》	竹井 帆菜美	《終身会費》	田川 なすな	《終身会費》	高崎 琴乃	《終身会費》	志水 沙璃	《終身会費》	篠崎 桃乃	《終身会費》	小室 優生	《終身会費》	古賀 遥菜	《終身会費》	河合 春菜	《終身会費》	加藤 詩織	《終身会費》	片村 美月	《終身会費》	岡村 沙織	《終身会費》	磯野 裕花	《終身会費》	安部 奈々美	《終身会費》	阿部 朱里	《終身会費》	吉浦 英寿	《終身会費》	矢野 喬也	《終身会費》	田中 志祈	《終身会費》	高木 浩平	《終身会費》	高江 翔太	《終身会費》	薄井 達也	《終身会費》	白井 希	《終身会費》	島田 卓弥	《終身会費》	鬼塚 元氣	《終身会費》	奥野 拓人	《終身会費》	占部 雄大	《終身会費》	入江 将安	《終身会費》	今橋 大希	《終身会費》	森田 真由	《終身会費》	山本 花南	《終身会費》	青木 翔也	《終身会費》	赤川 智貴	《終身会費》	石井 優	《終身会費》	井上 大嘉	《終身会費》	尾崎 隆太郎	《終身会費》	加瀬 尚貴	《終身会費》	川口 太貴	《終身会費》	城戸 悠太	《終身会費》	岸 勇太	《終身会費》	高石 健司	《終身会費》	田中 翔万	《終身会費》	友末 幸伸	《終身会費》	橋本 優雅	《終身会費》	濱本 修真	《終身会費》	増矢 周平	《終身会費》	右田 樹	《終身会費》	湯元 祥太郎	《終身会費》	吉浦 未来也	《終身会費》	井上 菜穂子	《終身会費》	上田 のどか	《終身会費》	上野 真由子	《終身会費》	大場 美保	《終身会費》	岡田 真穂	《終身会費》	川上 結生	《終身会費》	河野 莉子	《終身会費》	川崎 真生	《終身会費》	川崎 麻生	《終身会費》	久保 愛佳	《終身会費》	齊藤 晴南	《終身会費》	竹本 あかり	《終身会費》	綱本 純佳	《終身会費》	中藤 理沙	《終身会費》	中村 穂乃香	《終身会費》	野村 琴音	《終身会費》	村田 江里	《終身会費》	門田 美空	《終身会費》	安永 朱里	《終身会費》	吉永 柊司	《終身会費》	間重 飛	《終身会費》	秋武 玲理	《終身会費》	安部 玲理	《終身会費》
-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	------	--------	-----	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------

A large group photograph of the 1964-1965 Yearbook staff and students. The group is posed in many rows on a paved area in front of a school building. Most are wearing white shirts and dark skirts or pants. Two men in suits stand in the front row on the left. The photo is taken from an elevated angle.

石川智之	松水香穂	原口陽菜	長谷川稜	中野亜美	高居紗希	定行薫	神谷朋美	神田里奈	金丸真子	今谷七瀬	今泉陽	池之上春陽	安部瑞希	吉武広大	吉田航大	村上晃大	武藤実生起
長尾田中水樹	田中水樹	高之口玄	瀬戸恒治郎	佐藤慶二	指原豊	後藤成俊	木下瑛登	梶谷柊光	奥山裕也	大山直輝	上田悠暉	今村優太	今谷亮太	井上康綺	石橋倫弥	石島和弥	
安武愛美	安河内菖子	松井菜々美	中辻優	寺脇里緒	高山佐和	草津奈々	木村朋美	笠原由貴	大内楓	石谷歩希子	吉村弘明	宮本拓弥	蓑輪幸樹	松隈洸和	濱田洋輔	則行泰聖	二本木魁聖

お願いいたします。

田中美博さん(第5回)

今橋達也さん(第21回)

田中美博さん(第5回)

今橋達也さん(第21回)

送

西日本新聞掲載

平成29年度 宗像高校同窓会 総会・懇親会

各支部



東京支部

日時：29年10月9日(月) 12:00～14:30

場所：グランドニッコー東京台場
(東京都港区台場2-6-1)

問合せ先：事務局長 太田 哲雄

048-969-4119 (090-2319-1912)

関西支部

日時：29年10月21日(土) 13:00～16:00

場所：ホテル阪急インターナショナル
(大阪市北区茶屋町19-19)

問合せ先：事務局長 川端 正

0798-26-3828 (090-8533-0366)

北九州支部

現在、総会日時については検討中です。

問合せ先：事務局長 越智 大和

093-601-5059

福岡支部

日時：29年11月12日(日) 11:00受付 12:00～

場所：ホテルオークラ福岡
(福岡市博多区下川端町3-2)

問合せ先：事務局長 中島 睦雄

090-9479-8375

宗像市役所支部

現在、総会日時については検討中です。

※各支部同窓会の総会に参加してみようと思われる方は、どの地域からでもご参加いただけます。
ぜひ、事務局までお問い合わせください。多くの方々のご参加をお待ちしています。

財団法人 奨学金事業について

一般財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会 代表理事 吉田 晃

財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会は、昭和6年、当時の旧制中学校の後援を目的として周辺町村長を中心とする地域の有志により設立された現文部科学省認可の財団法人です。当初は、旧制中学校発展に資するため、土地の取得や、職員住宅の確保等を主な事業としていました。その後、学校諸施設に対する援助等を主な事業としてきましたが、平成15年度からは新たに奨学事業を発足し、平成28年度には、2年生6名、3年生4名の計10名に総額120万円の奨学金を給付しております。奨学生の皆さんは、経済的困難な状況に負けることなく勉学を続けることができ、自己の目標達成に向けて頑張ることができました。

平成28年度は各方面から70万円余のご寄付をいただいております。ここにご寄付をいただいた方のご氏名を掲載させて頂き、本紙面をお借りして改めてお礼に代えさせていただきます。

本財団法人は、今後とも在学生の奨学支援に力を注いで参る所存ですのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。

なお、今年度から顧問に伊豆美沙子様(宗高28回卒)が就任されました。

(一財)福岡県立宗像高等学校後援会事務局

宗像高等学校事務長 後藤 薫 〒811-3436 福岡県宗像市東郷6丁目7-1 TEL 0940-36-2019

奨学金、
ありがとうございました。

- ・宗高25回生 (有)北園総合建設 代表 北園 淳 様
- ・宗像高等学校同窓会 福岡支部 様
- ・宗像高等学校同窓会ゴルフ実行委員会 様
- ・昭和56年卒業 総会当番幹事一同 様
- ・宗像高等学校同窓会 東京支部 様

- ・宗高16回生 広瀬 春江 様
- ・宗高18回生 東京支部支部長 森 誠 様
- ・宗高19回生 東京支部副支部長 古瀬 保子 様
- ・宗像高等学校同窓会 様

《29年3月までに ご寄付頂いた方》